

# 紀南地域廃棄物処理促進協議会設立について

## 和歌山県の状況

一般廃棄物の排出量は横ばい、産業廃棄物の排出量は減少傾向である。

一般廃棄物の排出量は1人1日当たりでは全国平均を上回る。

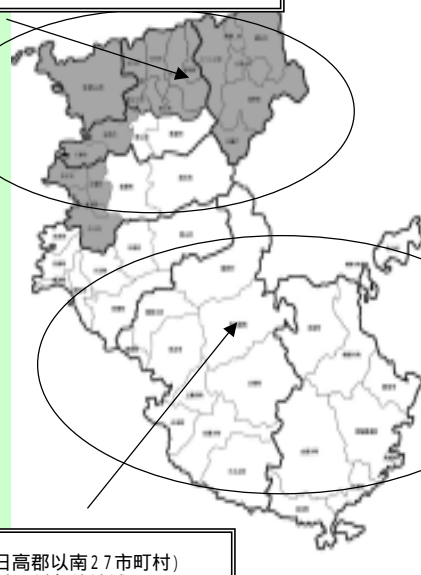
産業廃棄物の総生産当たりの排出量は全国平均を上回る。

処理施設の整備は進んでいない。  
 紀北:フェニックス計画対象地域  
 最終処分機能は確保、大企業は自己処理推進  
 しかし、中小企業は汚泥等の処理に苦慮  
 フェニックスの処分基準を満たすための中間処理機能が不足している 県外処理に依存

紀南:フェニックス計画対象外  
 処理施設そのものが不足 県外処理に依存  
 一般廃棄物の焼却灰の処理にも苦慮

最終処分の県外依存が高い。  
 不法投棄、不適切処理の増加。

紀北地域(有田郡以北23市町村)  
 19市町村(網掛け部分)がフェニックス計画対象地域。  
 23市町村、産業界、県で(財)和歌山環境保全公社を構成



紀南地域(日高郡以南27市町村)  
 フェニックス計画対象外地域

## 廃棄物処理についての和歌山県の考え方

【基本方針】  
 県内資源循環システムの構築  
 ~資源の採取・生産・消費・再資源化の「環」の構築~

【取り組みの方向】  
 方向1  
 循環型社会の構築を目指し、排出抑制・再利用・再生利用を徹底した社会システムの転換を促進する。

方向2  
 資源化・減量化・無害化を徹底し、廃棄物の最終処分量を低減することにより廃棄物による環境影響を限りなく低減する。

方向3  
 監視・指導・取締を強化し、不法投棄、違法管理及び野焼き等の不適正処理を撲滅する。

## 紀南地域の各市町村の取り組み

市町村では、御坊周辺広域市町村圏組合、田辺周辺広域市町村圏組合、新宮周辺広域ごみ処理対策協議会において一般廃棄物問題について検討を重ねていた。

御坊周辺広域市町村圏組合  
 管理者: 柏木 征夫 (御坊市長)  
 御坊市、美浜町、日高町、由良町、川辺町、中津村、美山村、印南町

田辺周辺広域市町村圏組合  
 管理者: 脇中 孝 (田辺市長)  
 田辺市、龍神村、南部川村、南部町、白浜町、中辺路町、大塔村、上富田町、日置川町、すさみ町

新宮周辺広域ごみ処理対策協議会  
 会長: 上野 哲弘 (新宮市長)  
 新宮市、串本町、那智勝浦町、太地町、古座町、古座川町、熊野川町、本宮町、北山村

## 紀南地域の産業界の取り組み

産業界では、日高地域産業廃棄物対策連絡協議会、紀南広域産業廃棄物問題連絡協議会、新宮・東牟婁地域の商工会議所、商工会において産業廃棄物問題について検討を重ねていた。

日高地域産業廃棄物対策連絡協議会  
 会長: 田端 淳二 (御坊商工会議所会頭)  
 御坊商工会議所、美浜町、日高町、由良町、川辺町、中津村、美山村、印南町各商工会、日高建設業協同組合、JA紀州中央、JAグリーン日高、JAみなべいなみ

紀南広域産業廃棄物問題連絡協議会  
 会長: 中田 肇 (田辺商工会議所会頭)  
 田辺商工会議所、龍神村、南部町、南部川村、白浜町、牟婁、中辺路町、大塔村、上富田町、日置川町、すさみ町各商工会、他関係団体

新宮商工会議所、串本町、那智勝浦町、太地町、古座町、古座川町、本宮町、熊野川町、北山村各商工会

## 紀南地域廃棄物処理促進協議会の設立

【設立目的】  
 安全で快適な地域社会の形成を目指し、豊かな緑と水に恵まれた紀南地方を後世に継承するため、廃棄物の適正な処理に関する事項を公共関与の必要性を含めて広域的な見地から検討を行うことを目的とする。

【事業内容】  
 廃棄物処理に関する紀南地方の現状・課題・将来動向の整理、そして課題解決方法の検討。  
 課題解決で必要なら、施設適地の検討。  
 その施設整備における事業主体・事業者の負担割合の検討。

【経過】  
 平成14年11月29日 紀南地域廃棄物処理促進協議会設立、検討開始  
 平成15年4月24日 第1回 紀南地域廃棄物適正処理検討委員会開催  
 平成15年5月10日 第2回 紀南地域廃棄物適正処理検討委員会開催